

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

新本庁舎新築工事の工期等について

資料 新本庁舎新築工事の工期等について

令和4年11月11日

総務企画局

新本庁舎新築工事の工期等について

1 新本庁舎新築工事の現在の状況と工期

超高層棟は、躯体工事、外装工事が概ね終了し、現在は全フロアにわたり内装工事や設備工事を行っております。復元棟は主に躯体工事を進めております。

新本庁舎新築工事の当初工期は令和5年3月末日までとしておりましたが、令和4年7月28日の総務委員会において、中国各地で実施されたロックダウンの影響により**少なくとも3か月間の工期延長**が必要と報告しました。

その後、超高層棟新築工事の外装工事を担当する会社の企業努力により、現場修正工程に合わせて部材を納入することができ、その他躯体・内装業者の協力もあり、遅れていた期間が短縮できました。並行して全請負業者11社間において調整を行った結果、ロックダウンの影響に起因する工期変更については、**全体工期を約2か月半延長し令和5年6月中に引渡し**を受けることで協議いたしました。

なお、10月25日に発生した火災については、現在、建物への影響を調査、確認しており、工期への影響については確定後、御報告いたします。

2 工期延長に伴い必要となる主な費用

(1) 工事関連

全ての請負契約の増額の合計額は約1億円

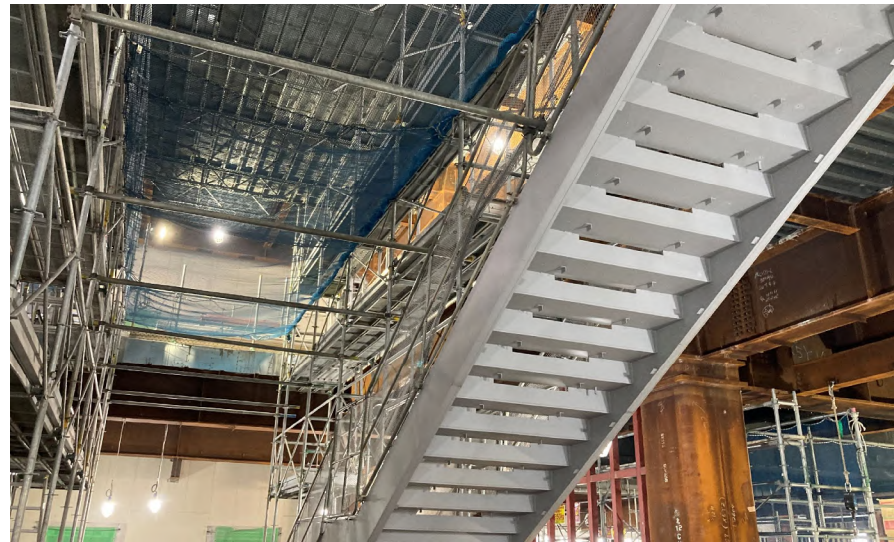
- ① 契約工期に基づき算出される経費（共通仮設費、現場監理費、一般管理費）
- ② 製作済み部材の保管等に係る費用
- ③ 監理業務委託費

(2) 工事関連以外

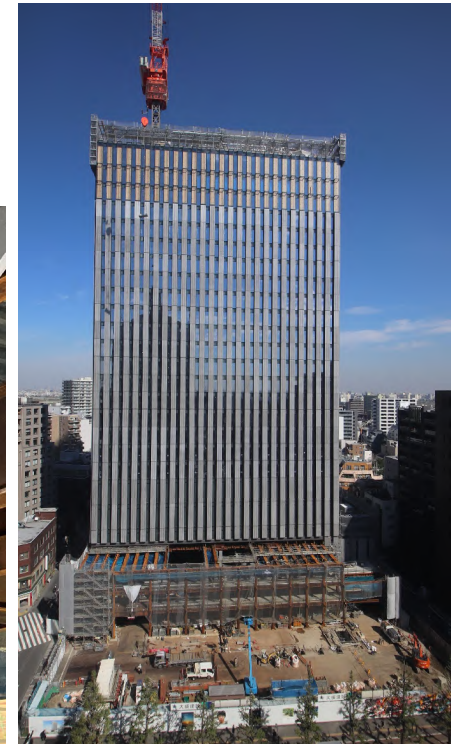
民間ビル賃借料 約4億4千万円の増額



23階議場傍聴席下部空間工事状況(令和4年10月初旬)



24階傍聴ロビー内装工事状況(令和4年10月下旬)

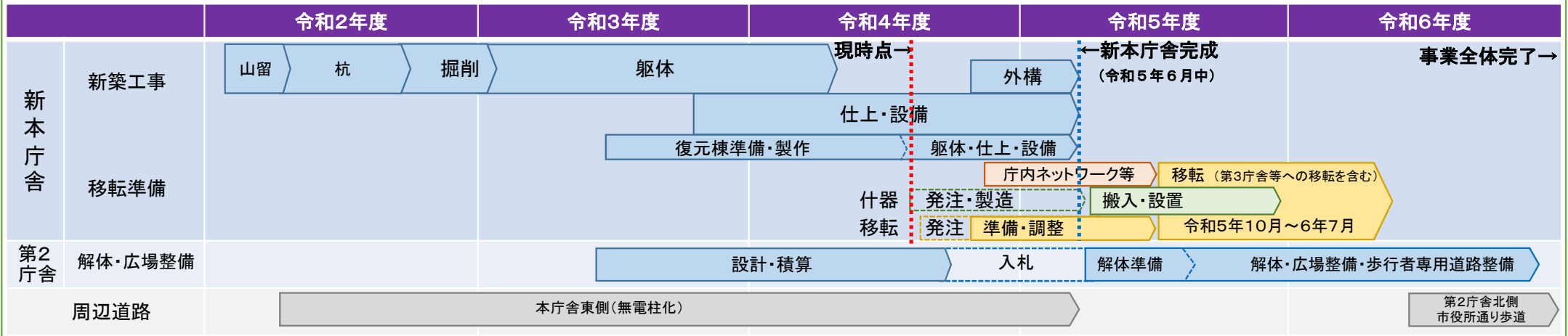


南側全景(令和4年10月下旬)

新本庁舎新築工事の工期等について

3 全体スケジュール

- ・令和4年度中から庁内ネットワーク工事などの執務環境整備を行うとともに、令和5年6月中に予定する建物の完成・引渡し後、養生・墨出し作業を経て、7月から什器等の搬入・設置を行い、10月から移転を開始します。第3庁舎の改修工事を並行して行い、令和6年7月までに全ての移転を完了する予定です。
- ・第2庁舎の解体及び跡地広場の整備を行い、令和6年度末に事業全体の完了を目指します。
- ・10月25日に発生した火災の全体工程への影響については確定後、報告します。



4 今後の主な発注・契約予定等

【令和4年度】

- ・新築工事
超高層棟の建築工事は令和4年度の出来高払い及びスライド条項適用のため、請負金額と工期の変更契約(第4回)を令和4年12月頃に締結する予定
その他10件の工事(復元棟建築工事や、超高層棟・復元棟の電気等設備工事)は、工期の変更契約を令和4年12月頃に締結する予定
- ・什器等整備
什器等について順次発注していく予定
- ・第2庁舎解体・広場整備工事
令和5年2月頃に入札手続きを行う予定

【令和5年度】

- ・建築をはじめとする一部の工事では、新築工事の最終段階で全ての変更を反映した変更契約が必要になる見込みで現在精査中

